

あなたも東京民研へ

東京民研部会紹介

研究会名・代表者名

2018年度研究員募集

研究員を希望される方は、都教組各支部・各地区協へ連絡してください。

国語

金田一清子

新学習指導要領や学テの批判・検討を通して今こそ私たちが求める「楽しく力のつく国語の授業」に提案が求められていると思っています。文学や説明文・作文や詩の指導をどう進めるか。今までの財産を大事に、若い人たちと共に基本にもどって楽しく研究を進めたいと思います。

外国語

柏村みね子

Welcome to Tokyo、パフォーマンス評価、悉皆研修、少人数習熟度別授業の推進等、東京の英語教育はどこへ向かうのでしょうか。

子どもたちに必要な外国語教育について、一緒に考え、実践していきませんか。教材や授業方法など交流しましょう。

算数・数学

岩村 繁夫

毎月、月曜日と土曜日交互に部会を開催しています。昨年度は「東京の習熟度別授業」の問題点についてまとめ、全国にも伝えることができました。今年度は教育実践とともに新指導要領や学力テストの問題についても分析・検討する予定です。気楽にご参加ください。

社会科

坂爪 邦雄

今年度は、中学校実践報告「消費税は公平な税か」、全国教研の報告、戦前戦後のカリキュラム運動の報告がありました。『学習指導要領解説社会編』の分析、A L型授業の検討、「指導と評価の一体化」に対して子どものための「評価」とは何かも検討しました。

理科

高鷹美恵子

今年度は、自然科学の基礎・基本を子どもたちのものにしていくために、どう学習していくことが必要なかという視点で、新学習指導要領を、検討しています。毎月第2木曜日、エデユカス東京で部会をしています。

参加、お待ちしております。

美術

竹内 美弥

「表現」することは子どもにとつてかけがえないものだという思いで実践作品を持ち寄り、交流・討議しています。今年度前半は学校行事や地域の中で組み立てられた鑑賞教材がテーマになりました。作品を真ん中に子ども達の現在と未来について語り合ひましょう。

音楽

四谷 悦子

「音楽を通して学校に豊かな文化を」をテーマに年1、2回の公開授業を行っています。部員の実践を交流し、東京民研や教研の学びの場で確められてきた教材を的確に子どもたちに手渡すことにより、豊かな授業を創り出す努力を重ねています。興味のある方はご参加下さい。

技術科

内田 康彦

技術は、多くの分野の研究が必要です。「しなやかに」「したたかに」教育目標を達成するために、東京民研と一緒に学んでいきませんか？教師は教育実践者であり、多くの実践データを持つ研究者でもあります。実践報告から学び、互いに高め合つていきましょう。

家庭科

谷内 香子

小学校の英語や道徳の教科化、教育課程の超過密化、家庭科授業時数削減で子どもたちの楽しみを奪い、人間らしい成長が脅かされているのではないだろうか。主権者としての生活者を育てる家庭科教育の可能性を掘り起こし、多くの授業実践を交流しながら研究しています。

保健体育

岩崎 明美

保健体育部会では、子どもたちが「わかる できる わかちつたえる」体育の授業を目指して学習しています。毎年七月に先生方向けの水泳教室を行っています。そして参加者と共に、どのように指導したらみんなが楽しく泳げるようになるのかを深めています。

生活科

中河原良子

私たちの生活科では、自然の仕組みや不思議や面白さを見つけたり、身近な人々の暮らしや働く様子をとらえたりして自然や社会に自ら働きかける力を養い、事実認識の目・芽を育てます。

学力向上に追われる子どもたち。ほんもの志向の実践を創り、交流しましょう。

学校保健

佐々木弘子

養護教員部定期大会での発言で、「特別支援のコーディネーターの仕事が多すぎて本来の養護教諭の仕事ができず、子どもたちに十分に関わってあげられなくなってきた」というものが多くありました。仲間の声を集め、東京教研でも議論していきます。

進路指導

岩井 紀子

「東京の入試制度―特に都立高校の多様化・特色化がめざすものは何か」「東京の中学・高校教育は子どもたちをどこにもついでいこうとしているのか」など、中等教育全般にわたる問題を具体的事例・実践を挙げながら学習・交流を行っています。定例会は毎月第4土曜日です。

幼年

岩瀬 洋子

新学習指導要領は、「幼児教育で育みたい資質・能力」を公表しました。公立小学校併設の幼稚園が減り、厳しさを増していますが、新学習指導要領の内容や幼年期と学童期の関連等、考えることがたくさんありそうです。みなさん、一緒に学習し、実践に生かしませんか。

障害児教育

杉山 敏夫

特別支援教室の設置が進み、特別支援学級に在籍する子どもたちも増加しています。すべての子どもたちに安全・安心な「居場所」と豊かな学びを、と改めて障害児教育の場での実践を深め、発信したいと、毎月の部会を開催し実践を検討しまとめていきます。

生活指導

井本 宗近

息苦しく、考える時間もないほど忙しい職場。子どものよさと悩みが、もつとシャープに見えてくる、学級づくりに役立つヒントがいっぱい、そんな部会をめざしています。参加してみてください。月に一度、青梅で部会を開いています。連絡先 imotomunechikal23@gmail.com

職場の民主化

西田 昭司

人格の完成をめざす教育は、教職員が自由に意見が言えて、民主的に物事が決められる職場でなければ実現できません。そんな職場をどうつくっていくのか、どんな努力をしたらよいか、そんなことを研究しています。

現職の方の参加を期待しています。

教育条件整備

山木 清孝

東京版学校事務の「共同実施」は、民間委託をも視野に入れた新たな段階に入っています。このような動きが学校をどのように変えてしまうのでしょうか。いま教育条件に関わる研究、議論が強く求められています。

皆さん、ぜひ本部会にご参加ください。

学校給食

宮鍋 和子

学校や保育園は勿論、子どもたちと関わる様々な立場の人が集まり、食育って何？、食教育って？、を探究しています。時には愚痴をこぼすこともありませんが、そこから新たな取り組みや次へのヒントを発見することも。

午後のひととき、ご一緒しませんか！

地域・学校づくり

高木 勝正

アメリカでは、テスト成績の悪い学校を閉校し公設民営化したり、教員の総入れ替えをしたりする手法により、公教育の破壊が進んでいます。「市場型教育改革」による公教育破壊の歯止めは、地域と学校が手を結んでいくことしかありません。

いっしょに学びましょう。

平和教育

佐藤 康高

子どもの現状に寄り添い、いのちと人権を尊重する平和学習・平和教育は現場ではさまざまに取り組みられています。困難はあっても大いに実践を交流し、「戦争できる国」に突き進む中、新たな実践の流れを作っていくのが部会の役割かと思えます。若い方の参加を期待しています。

道徳（心の教育）

矢澤 正道

「道徳の教科化」が迫っています。今、部会は、教科書教材の批判検討しています。教科書教材は、価値観を押し付けるなど問題がある教材が多くみられます。他の教材を持ちこむ、考える観点を変えるなどして、基本的人権等の憲法的視点を大切にしたい実践が期待されます。

ジェンダーと性の教育

天沼 文

わたしたちの部会では、様々なことをジェンダー視点で見るとどうなのかを検討しています。

また、子どもの権利条約をはじめ、人権を尊重するとはどういうことかも大切な視点です。子どもが大切にされるために様々な面からアプローチしています。

文化活動

磯崎 四郎

昨年は、小学校と中学校の学芸会での演劇発表の実践を学習しました。百人一首を通じて学級づくりをしている実践も報告されました。今、学校や子どもの文化が貧弱になっています。現場や教師の悩みもつきません。子どもを笑顔に変える実践やヒントを、交流しませんか。

教育評価

阿原 成光

評価は教育の要です。だから、攻撃の最初が戦争への一里塚「勤評」でした。学力保障の評価として東京からも始めた「到達度評価」は差別・管理の「観点別評価」に変質しました。いま変革の時！

子らのため仲間募集の師走かな

ぜひ一緒に！

2017年度

東京民研総括集会

新学習指導要領や道徳の「教科化」など、教育はますます大それた課題を抱えています。これらの課題に取り組むために、今年度の研究・実践を総括していきましょう。

ぜひ、ご参加ください。

日時 3月25日 午前・午後

会場 エデュカス東京
4階都教組会議室